

咲む

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画

『咲む』上映会ニュース 2020年11月2日 No.3

発行：全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画製作委員会

公式HPサイト



<https://www.emu-movie.jp>

Instagram



https://www.instagram.com/emu_movie/

Twitter



https://twitter.com/emu_movie



奈良県



10月4日 ^{いかるがちょう}斑鳩町いかるがホール上映会

10月4日（日）、奈良県聴覚障害者協会主催による上映会が、生駒郡斑鳩町いかるがホールで開催されました。コロナ禍により会場定員が通常の1/3とされましたが、定員となる254名の方々が来場されご鑑賞いただきました。



募金の様子



販売ブース

『咲む』映画プログラムを販売するのが初めての上映会となりましたが、82部を販売し、来場者の3名に1名がお求めになられた、大変うれしい結果となりました。ほかにTシャツやクリアファイル販売も好調。さらに早瀬監督のサイン入り『季刊みみ』（168号『咲む』特集）は完売しました！「もっと準備しておけばよかったなあ」（担当者）



上映終了後に早瀬監督と主演の藤田菜々子さんのトークショーが行われ、『咲む』の脚本・監督として、主演女優として、撮影裏話など、長谷川副理事長を交えた楽しいトークに会場は大盛り上がり、大きな拍手に包まれました。

—感想—

- ★どんなハンデがあっても誰かの役に立ちたいと思うのは人として自然なことだと思う 前向きに生きる瑞月の生き方が好きです。
- ◆瑞月のポジティブな姿にふれ、始めは否定的だった村人が、だんだんと心を開いていく様子や、祖母と父が再び出会う様子、障害を持つ子の親としての苦悩や、障害を乗り越えようとする姿。様々なシーンやエピソードが織り成した素晴らしい映画だと思いました。
- ♥映画を見るとき、このシーンは何を伝えたいかなどメッセージを意識しながら観ていた。上映後、「途中から音が消えたシーンがあったのはなぜか」や「このシーンはそういうことを伝えなかったのか」など様々な疑問点を持っていた。そこでトークショーで早瀬監督・藤田氏からのお話を聞いて、その疑問点を気持ちいいくらい解消できた。また、裏側のお話も聞いて、映画の背景も想像できるようになり、映画がより面白く感じた。
- 徹底した感染対策ありがとうございました。不安なく参加できました。人数制限により参加できなかった人のためにも地域での開催も早期に行えると嬉しいです。
- ♣これからろうあ者の問題だけでなく、いろんな障害や差別について取り組んでいってほしいなと思います。募金活動は大きな力になると思います。

埼玉県 10月16日埼玉県障害者交流センター上映会

10月16日（金）、埼玉県聴覚障害者協会（以下、埼聴協）主催による<招待>上映会が、埼玉県障害者交流センターで開催されました。埼聴協では、映画『咲む』制作資金づくりのために、懇親している会社等を訪問、3社（毎日興業株式会社様、葉月システム株式会社様、関東図書株式会社様）から協賛金を頂戴しました。現状のコロナ禍により各社も例外ではなく経営が厳しい状態とのことでしたが、埼聴協と共に取り組む姿勢は変わらない、コロナ禍であっても工夫を取り入れ、共に取り組んで行きたい、と心強いお話を頂戴しました。その志に感謝を示したいと、<招待>上映会を開催することになりました。そのほかに、埼聴協代表理事、副代表理事が、各会社へ訪問し、『連盟70年史』『わたしたちの手話 学習辞典 I・II』を贈呈しました。（<http://sai-deaf.org/blog/2020/06/27/2691/>）



—感想—

★毎日興業株式会社様

毎日興業ではご縁があり、この映画の製作を支援させていただいたのですが完成された映画はとても感動的で素晴らしい映画でした。ろうの女性が懸命に前向きに夢に向かって歩いていく姿は大変素敵で、その彼女の懸命でひたむきな姿が周囲の人々に大きな影響を与えていく様子にとっても感動しました。脚本・翻訳・監督を務められた早瀬憲太郎さん自身もろう者であり、主演を務めた藤田菜々子さんをはじめ他にも障害を持つ方々が多く出演されており、映画製作においても映画のストーリー同様に「きこえる」人と「きこえない」人が共に創り上げていった素晴らしい作品だと思います。このような作品に支援という形で当社が携われたことはとても嬉しく、誇りに思います。ありがとうございました。

※毎日興業社長・田部井様が、HP内<社長のひとこと>「音のない世界」で『咲む』についてお話されています。
<https://www.mainichikogyo.co.jp/blog/1772/>

★葉月システム株式会社 社長 新井様

最近明るい話題がない中で上映が出来た事は、本当に良かったのではないのでしょうか。ヒロインの瑞月さんの演技は勿論のこと物事に対する考え方、前向きな姿勢、人との接し方、優しさ等、自分も心打たれるシーンを観て勇気と感動を戴きました。本当にありがとうございました。

山梨県 10月25日甲府市総合市民会館上映会

10月25日（日）、山梨県聴覚障害者協会主催による上映会が、甲府市総合市民会館芸術ホールで開催されました。上映会情報を山梨県協会新聞やホームページで告知したほか、市町聴覚障害者協会や関係団体（山梨手話通訳問題研究会、山梨県手話通訳士会）にチケット販売を依頼、山梨日日新聞や朝日新聞のイベント情報に掲載したことにより、156名の方々にご鑑賞いただきました。



会場は、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に施し、ご来場者に安心して映画に集中していただける環境を準備しました。受付での検温、マスク着用確認、鑑賞者に連絡先カードに記入してもらう、会場までの密にならない誘導など、神奈川県上映会の感染防止対策事例がとても参考になったと報告がありました。ただし、上映終了後の販売コーナーはどうしても密になってしまう状況が発生し、フィジカルディスタンスを確保できるレイアウトの工夫が必要であったとのご意見もいただきました。



—感想—

- ★「障害は乗り越えていない、ただ前に進むだけ」の言葉がすごく共感しました。
- ♣主人公が周りにいるきこえる人とコミュニケーションが取れず孤独になっていく場面は、とても心が痛みました。きこえる学校や家族、会社で孤独になった心の痛みを思い出して辛かったです。でも客観的に見て、やはりきこえないことから来るコミュニケーション障害は、重くて深い見えない障害だと思いました。
- ♥生まれてきておめでとう！涙が出ました。
誰もが生まれてきてよかった、生きて良かったと感じる社会になりますように。
- ◆とても感動したので、次回会場には家族を誘って観に行きたいです。
- 『咲む』とてもいい映画でした。
主人公にも惹き付けられ、色々な人の思いも感じられたし、考えさせられることが、たくさんありました。辛いこともあったけど、作品全体には前向きなパワーがあって良かったです。職場の先生達、家族、友達、みんなにオススメしたい映画でした。来年度、山梨でまた上映してほしいです。
- ▼とても良かったです。ろうの問題だけでなく、他の障害や地域まで幅広くとりあげていて、感動の涙涙でした。
- ♠私が印象に残ったのは、主人公が、車椅子の女性に「障害は乗り越えなくてもいいんだよ。前を向いて歩けばいい。」ということをお話している言葉が印象に残りました。
自分自身も、肩肘張らずに、一步一步進んでいこう、また明日から頑張ろう、という気持ちになりました。

★『咲む』関連情報のお知らせ★



●鳥取県聴覚障害者協会 『咲む』サイト
<https://torideaf.jp/publics/index/169/>



●広島市ろうあ協会 『咲む』等のPR動画
<https://www.hiroshimadeaf.org/>
 (広島市ろうあ協会サイト)



●「コラムニスト伊是名夏子ブログ・『咲む』」(加古川リュウ子役)
<http://blog.livedoor.jp/natirou/archives/52300087.html>

★『咲む』グッズ販売状況(10月25日までの7会場)★

アイテム	数量	アイテム	数量
プログラム	118部(2会場)	季刊みみ168号	174部
Tシャツ	175枚	クリアファイル	216枚
付箋	47個	小説『咲む』絶賛発売中!	

★募金報告★

♠9月13日 富山県富山市上映会 28,194円
 ♥10月4日 奈良県斑鳩町上映会 55,076円
 上映会場での募金を頂戴しました。皆様、ありがとうございました!

上映会でのグッズ販売・募金報告をお待ちしています!!

